

丹波市人権・同和教育協議会

第58号

人権ネットワーク たんば

発行 丹波市人権・同和教育協議会
事務局 〒669-3309
丹波市柏原町柏原443
TEL・FAX 0795-72-2770
e-mail jinken@tambashi-doukyou.jp



西垣 義之 会長 あいさつ

2024年度 丹波市人権・同和教育協議会 総会を開催しました
副会長は伏田雅子さん、細見能成さんです

総会では、新型コロナウイルス感染症も2類から5類に変わり、2023年度の事業についてはその影響もなく、すべての活動が計画通り実施できたことが報告されました。また、2024年度の事業計画等についてもそれぞれ提案どおりご承認をいただきました。理事、代議員の皆様お世

話になりありがとうございました。

さて、戦後、1946年に「国民権」「基本的人権の尊重」「平和主義」を基本原則とした「日本国憲法」が制定されました。第十四条には「すべての国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない」と、うたわれていることはご承知のことと思います。当時、兵庫県下では部落差別事件を契機に、部落差別をなくし、基本的人権の尊重をめざす教育活動を全県下に広げる動きが起こり、学校での児童生徒の不就学や長欠者に対する取組とともに同和教育は進められていました。そして、1950年に兵庫県同和教育中央委員会（現在の兵庫県人権教育研究協議会）が全国初の組織として発足し、その3年後に全国同和教育研究協議会（現在の全国人権・同和教育研究協議会）が組織されています。

丹波市においても、1959年、市同教の前身である氷上郡同和教育協議会を組織し、部落差別の解消と基本的人権が尊重された社会をめざし、同和教育の実践を積み重ねてきました。65年が経過した現在、それら先人の取組を私たちが受け継いでいるのです。現在では、インターネット上での誹謗中傷や差別を助長する書き込み、

間違った情報の氾濫など、新たな社会問題となっています。

兵庫県が昨年実施した県民の人権意識調査の結果が、この3月に報告されています。この意識調査は5年ごとに実施されているのですが、その中の一つに「効果的な人権啓発活動」を問う項目があります。過去の調査においても多かったテレビ・ラジオに続き、SNS、ホームページなどのインターネットが県・市町の広報紙を上回る結果となっています。また、「人権尊重の考え方に強い影響を受けたもの」として、学校での人権教育、また家族や友人、地域、職場など人とのふれあいの中からと答えられている方が多くなっています。いずれも世代なども考慮しなければならないと思いますが、結果からみれば、学校での人権教育がいかに大切か、そして人権に関する情報や知識を学ぶ機会として、テレビ・ラジオやホームページなどのインターネットを含め、それらの媒体が常に正しい情報を発信することが、人と人とのふれあいの中で正しい情報から正しい知識を得ることになります。それこそが、市同教が進める「市民一人ひとりがそれぞれの個性や生き方の違い、多様な価値観や文化を認め合い、助け合いながら人権文化の根づく共生社会の実現」につながると考えます。そのために、私たちは人権・同和教育の推進を図る取組を継続することが必要だと改めて感じるところです。

市同教では、参画するそれぞれの団体等の人権リーダーとして役割を果たしてもらえよう、昨年度と同様に、理事、各部会等の研修を計画しています。これらの研修を通して「知的理解」を深め、「人権感覚」を培い、「人権意識」を育て、それぞれの属する学校・家庭・地域・職場等に生かして、人権文化の創造を図り、人権課題の解決に努めます。

市同教の主な研修会

下記のほかに、総会や理事会、各部会（就学前、小学校、中・高、行政）で研修を行います

- 1 第1回 社会教育人権研修会**
(社会教育分野の全部会員及び理事)
- 6月21日(金) 19:00～ 柏原住民センター
 - 講師：公益財団法人 反差別・人権研究所 みえ 常務理事兼事務局長 松村 元樹さん
 - 演題：無関心でいられても無関係ではられない人権問題

- 2 学校教育人権研修会**
(園・小・中・県立校の教職員及び理事)
- 8月1日(木) 13:30～ 氷上住民センター
 - 講師：じんけんSCHOLA共同代表 上杉 聡さん
 - 演題：教科書のなかの部落問題
～その大きな変化から考えること～

- 3 人権ゆかりの地探訪**
(小・中・県立校の教職員・希望する市民)
＜隣保館事業 第2回「じんけんセミナー」との共催＞
- 8月22日(木) 13:30～ 春日住民センター
 - 講師：大阪人権博物館 館長 朝治 武さん
 - 演題：氷上の水平運動と松茸山入会権闘争

- 4 第2回 社会教育人権研修会**
(社会教育、女性、宗教、企業の各部会員及び理事)
- 9月13日(金) 19:00～ 柏原住民センター
 - 講師：尼崎市職員 黄 光男(ファン グァンナム)さん
 - 演題：ハンセン病家族の思い～問われているのは誰ですか～

- 5 第3回 社会教育人権研修会**
(社会福祉、行政、PTAの各部会員及び理事)
- 9月19日(木) 19:00～ 柏原住民センター
 - 講師：丹波篠山市 弁護士 川嶋 将太さん
 - 演題：インターネットによる人権問題

- 6 丹(まごころ)の里 “人権のつどい”**
- 12月8日(日) 13:30～ 春日文化ホール
 - 人権活動事例発表：三菱電機社会インフラ機器株式会社
 - 内容：子育てサポート企業「くるみん認定」の取得とその後の取組み
 - 詳細は今後決定

あなたとまちとフェイス to フェイス
中兵庫信用金庫

理事長 足立 厚郎

本店・丹波本部 丹波市氷上町成松226-1
Tel.(0795)82-8850代
三田本部 三田市けやき台1-4-3
Tel.(079)569-7150代
ホームページ <https://www.nakashin.co.jp/>

JA丹波ひかみは
地産地消に取り組み
地域の「食」と「農」を応援します！



JA丹波ひかみ
〒669-3461 丹波市氷上町市辺440
TEL(0795)82-0170 FAX(0795)82-3658
<https://ja-tanbahikami.or.jp/>

真実一路 株式会社 吉住エ務店

代表取締役社長 吉住 正基

本社：丹波市春日町野村2465

TEL：0795-74-0712

こだま館 / 丹波展示場
西宮支店 / ショールーム



100th Anniversary 丹波と100年、この先も。

おかげ様で丹波新聞は創刊100周年を迎えることができました。地域の皆様に心より感謝申し上げます。これからも変わらぬご愛顧のほど、何卒よろしくお願いいたします。

株式会社 丹波新聞社

丹波市柏原町柏原201-1
TEL. 0795-72-0530



週2回 日・木曜日発行 月極め購読料1,450円(税込)